

## 2018年漁業センサスの調査結果概要

### ◆漁業センサスとは

漁業センサスは、我が国の漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取り巻く実態と変化を総合的に把握し、新しい水産基本計画に基づく水産行政施策の企画・立案・推進のための基礎資料を作成し提供することを目的に、5年ごとに行われている。

2018年漁業センサスは漁業経営体（利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を営んだ世帯又は事業所）を対象に平成30年11月1日現在で実施された。

### ◆統計表中の符号の用法は次のとおりである。

「0」：単位未満

「-」：該当数字なし

「△」：マイナス

## 調査結果の概要

### ◆漁業経営体数

#### （1）総経営体数

平成30年11月1日現在における長崎市の漁業経営体数は502経営体で、前回調査（平成25年調査）に比べ、124経営体（19.8%）減少した。

長崎県全体の経営体数は5,998経営体で、本市はその8.4%を占める。

表1 経営体数の推移

年次	長崎市	長崎県
平成25年	626	7,690
平成30年	502	5,998
増減率(%)	△ 19.8	△ 22.0

(2) 地区別、経営組織別経営体数

地区別にみると、琴海地区が66経営体で全体の13.1%を占めているが、前回に比べ29経営体(30.5%)減少している。

経営組織別にみると、個人経営体は476経営体で全体の94.8%を占めているが、前回に比べて119経営体(20.0%)減少した。

団体経営体は26経営体で、前回から5経営体(16.1%)減少した。

表2 地区別経営体数

地区別	平成25年	平成30年	増減数	増減率(%)
総数	626	502	△124	△19.8
琴海	95	66	△29	△30.5
外海	19	17	△2	△10.5
新三重	41	32	△9	△22.0
福田	43	41	△2	△4.7
長崎西部	8	5	△3	△37.5
長崎港	8	5	△3	△37.5
長崎東部	9	16	7	77.8
深堀	20	12	△8	△40.0
茂木	96	62	△34	△35.4
網場	10	10	-	-
東長崎	80	64	△16	△20.0
香焼	15	6	△9	△60.0
伊王島	20	18	△2	△10.0
高島	9	7	△2	△22.2
蚊焼	15	18	3	20.0
為石	30	23	△7	△23.3
野母崎北部	50	51	1	2.0
野母崎南部	58	49	△9	△15.5

図1 地区別経営体数の構成比

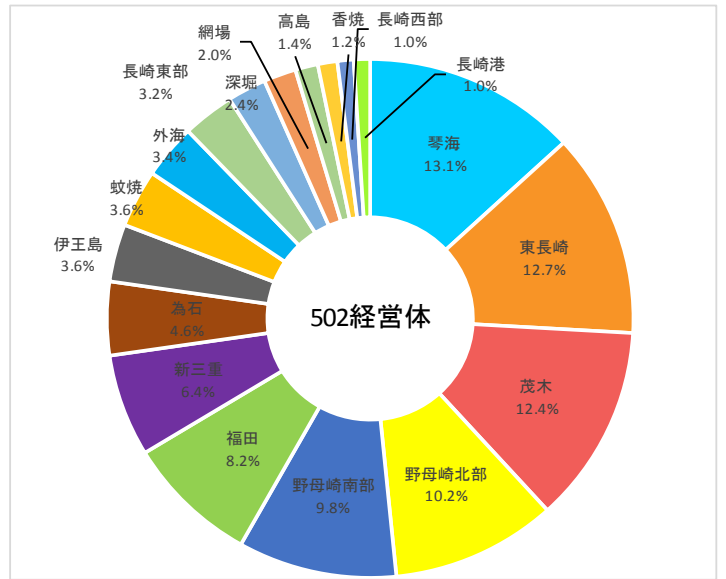


表3 地区別経営組織別経営体数

地区別	総数	個人漁業経営体数			団体漁業経営体数					
		小計	専業	兼業	小計	会社	漁協	生産組合	共同経営	その他
平成25年	626	595	330	265	31	27	-	-	4	-
平成30年	502	476	269	207	26	24	-	-	2	-
琴海	66	59	12	47	7	7	-	-	-	-
外海	17	17	13	4	-	-	-	-	-	-
新三重	32	28	28	-	4	2	-	-	2	-
福田	41	41	6	35	-	-	-	-	-	-
長崎西部	5	4	4	-	1	1	-	-	-	-
長崎港	5	3	-	3	2	2	-	-	-	-
長崎東部	16	15	11	4	1	1	-	-	-	-
深堀	12	12	9	3	-	-	-	-	-	-
茂木	62	62	56	6	-	-	-	-	-	-
網場	10	10	9	1	-	-	-	-	-	-
東長崎	64	58	37	21	6	6	-	-	-	-
香焼	6	6	3	3	-	-	-	-	-	-
伊王島	18	18	13	5	-	-	-	-	-	-
高島	7	6	5	1	1	1	-	-	-	-
蚊焼	18	17	7	10	1	1	-	-	-	-
為石	23	23	5	18	-	-	-	-	-	-
野母崎北部	51	50	27	23	1	1	-	-	-	-
野母崎南部	49	47	24	23	2	2	-	-	-	-

(3) 経営体階層別経営体数

漁業経営体を経営体階層別で見ると、構成比に大きな変化はないが前回に比べ、どの階層も減少している。

表4 経営体階層別漁業経営体数

区分	平成25年	平成30年	構成比		増減率(%)
			平成25年	平成30年	
漁業経営体数	626	502	100.0%	100.0%	△ 19.8
沿岸漁業層	613	490	97.9%	97.6%	△ 20.1
海面養殖層	41	35	6.5%	7.0%	△ 14.6
中小漁業層	13	11	2.1%	2.2%	△ 15.4
大規模漁業層	-	1	-	0.2%	-

(4) 営んだ漁業種類別経営体数

営んだ漁業種類別経営体数で見ると、その他の網漁業が 35 経営体 (70.0%)、その他の漁業が 61 経営体 (46.9%)、海面養殖が 30 経営体 (31.6%) の減少となっている。

表5 営んだ漁業種類別経営体数

経営体階層	経営体数		増減数	増減率(%)
	平成25年	平成30年		
漁業経営体数(実数)	626	502	△ 124	△ 19.8
底びき網	176	122	△ 54	△ 30.7
船びき網	5	4	△ 1	△ 20.0
まき網	9	9	-	-
刺網	151	119	△ 32	△ 21.2
大型定置網	-	1	1	-
小型定置網	29	22	△ 7	△ 24.1
その他の網漁業	50	15	△ 35	△ 70.0
はえ縄	50	43	△ 7	△ 14.0
釣	293	211	△ 82	△ 28.0
採貝・採藻	92	88	△ 4	△ 4.3
その他の漁業	130	69	△ 61	△ 46.9
海面養殖	95	65	△ 30	△ 31.6

※複数回答項目のため、漁業種類別の合計と漁業経営体数(実数)は一致しない。

(5) 漁獲物・収穫物の販売金額別経営体数

漁獲物・収穫物の販売金額別経営体数をみると、100万円未満の経営体がもっとも多く、次いで100～300万円となっている。

表6 漁獲物・収穫物の販売金額別経営体数

区分	平成25年	平成30年	構成比		増減数	増減率(%)
			平成25年	平成30年		
総数	626	502	100.0%	100.0%	△ 124	△ 19.8
販売金額なし	-	2	-	0.4%	2	
100万円未満	287	249	45.8%	49.6%	△ 38	△ 13.2
100～300	208	128	33.2%	25.5%	△ 80	△ 38.5
300～500	61	52	9.7%	10.4%	△ 9	△ 14.8
500～800	27	23	4.3%	4.6%	△ 4	△ 14.8
800～1,000	2	5	0.3%	1.0%	3	150.0
1,000～1,500	8	8	1.3%	1.6%	0	0.0
1,500～2,000	2	6	0.3%	1.2%	4	200.0
2,000～5,000	9	7	1.4%	1.4%	△ 2	△ 22.2
5,000万円～1億円	6	5	1.0%	1.0%	△ 1	△ 16.7
1億円～2億円	7	9	1.1%	1.8%	2	28.6
2億円～5億円	3	3	0.5%	0.6%	0	-
5億円～10億円	5	2	0.8%	0.4%	△ 3	△ 60.0
10億円以上	1	3	0.2%	0.6%	2	200.0

## ◆漁業就業者数

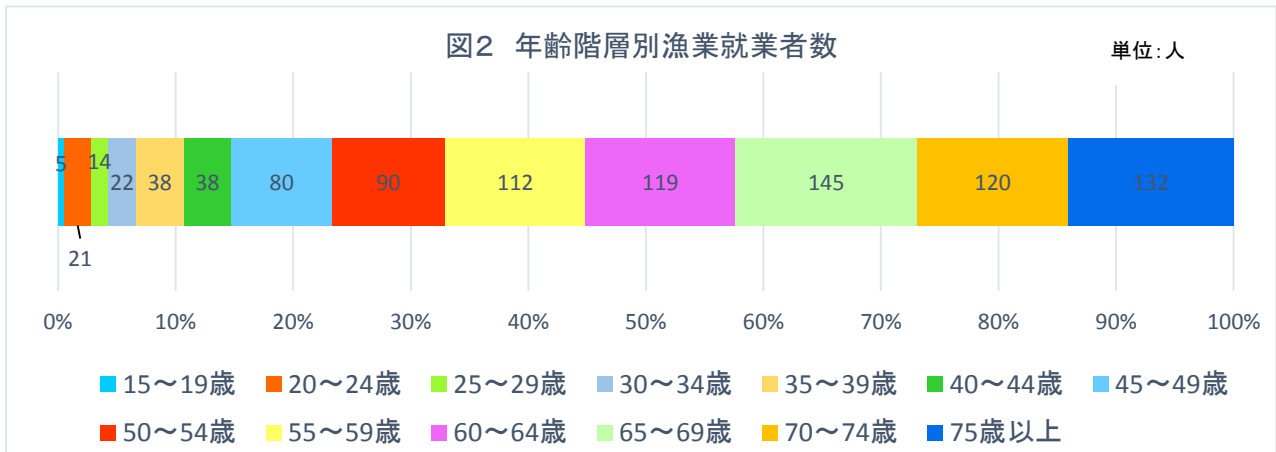
### (1) 年齢階層別漁業就業者数

漁業就業者数は936人で、前回より204人(17.9%)減少した。

年齢別で見ると、20～24歳で6人、70～74歳で5人、45～49歳で4人の増加となったが、それ以外の区分では減少している。

表7 年齢階層別漁業就業者数

区分	平成25年	平成30年	構成比		増減数	増減率(%)
			平成25年	平成30年		
漁業就業者計	1,140	936	100.0%	100.0%	△ 204	△ 17.9
15～19歳	16	5	1.4%	0.5%	△ 11	△ 68.8
20～24歳	15	21	1.3%	2.2%	6	40.0
25～29歳	24	14	2.1%	1.5%	△ 10	△ 41.7
30～34歳	41	22	3.6%	2.4%	△ 19	△ 46.3
35～39歳	42	38	3.7%	4.1%	△ 4	△ 9.5
40～44歳	78	38	6.8%	4.1%	△ 40	△ 51.3
45～49歳	76	80	6.7%	8.5%	4	5.3
50～54歳	110	90	9.6%	9.6%	△ 20	△ 18.2
55～59歳	137	112	12.0%	12.0%	△ 25	△ 18.2
60～64歳	195	119	17.1%	12.7%	△ 76	△ 39.0
65～69歳	149	145	13.1%	15.5%	△ 4	△ 2.7
70～74歳	115	120	10.1%	12.8%	5	4.3
75歳以上	142	132	12.5%	14.1%	△ 10	△ 7.0



## ◆漁船隻数

### (1) 漁船隻数・動力漁船トン数規模別隻数

漁船の総隻数は820隻で、前回より201隻（19.7%）減少した。

動力種類別で見ると、無動力漁船が8隻、船外機付漁船隻数が339隻、動力漁船が473隻となっている。

動力漁船をトン数規模別で見ると、3～5トンがもっとも多く234隻、次いで1～3トンが125隻となっている。

表8 漁船隻数・動力船トン数規模別隻数

区分	平成25年	平成30年	構成比		増減数	増減率(%)
			平成25年	平成30年		
漁船総隻数	1,021	820	100.0%	100.0%	△ 201	△ 19.7
無動力漁船隻数	5	8	0.5%	1.0%	3	60.0
船外機付漁船隻数	426	339	41.7%	41.3%	△ 87	△ 20.4
動力漁船	590	473	57.8%	57.7%	△ 117	△ 19.8
1トン未満	17	10	1.7%	1.2%	△ 7	△ 41.2
1～3	163	125	16.0%	15.2%	△ 38	△ 23.3
3～5	297	234	29.1%	28.5%	△ 63	△ 21.2
5～10	53	41	5.2%	5.0%	△ 12	△ 22.6
10～20	45	49	4.4%	6.0%	4	8.9
20～30	-	-	-	-	-	-
30～50	-	1	-	0.1%	1	-
50～100	3	5	0.3%	0.6%	2	66.7
100～150	3	2	0.3%	0.2%	△ 1	△ 33.3
150～200	6	-	0.6%	-	△ 6	△ 100.0
200～350	3	6	0.3%	0.7%	3	100.0
350～500	-	-	-	-	-	-
500～1,000	-	-	-	-	-	-
1,000トン以上	-	-	-	-	-	-

図3 漁船隻数・動力船トン数規模別隻数

単位：隻

